

課題別事後評価結果

【課題名】

Fetus and pregnant woman Exposure to Telecom new wireless Usages and Systems (FETUS)

(邦題: 新たな無線通信技術とその利用により生じる電磁界に曝露された妊娠女性および胎児の評価)

【研究代表者】

日: Soichi Watanabe (National Institute of Information and Communications Technology)

仏: Joe Wiart (Orange)

【評価】

無線通信波源に対する妊娠女性および胎児の暴露解析を目的に本プロジェクトで開発されたモデルは医療など幅広く応用が可能であり、重要であると同時に非常に困難なトピックに取り組んだ本プロジェクトは十分評価に値する。

プロジェクト期間中に医学コミュニティから開発されたモデルの利用申し入れはなかったが、一般市民から広い関心を集めた。本プロジェクトで開発されたモデルは普遍的な有用性を有しており、将来様々な産業での応用が期待される。また、妊婦の数値モデルは科学コミュニティに対してオープンソースとして提供される予定であり、医療科学あるいは無線通信など様々な業界で活用されることが期待できる。

協力連携については、両国のチーム間でソフトウェアの交換はあったものの、研究者間でインタラクションは十分とは言えず、国際共同プロジェクトの推進体制としては不満が残る。また、成果発表に関しても、研究グループの中には全く共著論文を発表していないグループも存在しており、共同発表数、共著数は物足りない。

今後の展開として、本プロジェクトの研究者らには新たな研究コミュニティの形成や新たな国際研究プロジェクトの発足に向けた積極的な活動を期待したい。また、残された課題としては、妊婦の姿勢の変化に対応したモデルの開発、特に、胎児の位置など生体構造上より現実的な構成の再現があろう。この課題が解決され、一般的なソフトウェアとして完成させることを期待したい。